

川崎医科大学附属病院

[倉敷] 病床数：1,182床



医療現場を忠実に再現した先進の設備 チーム医療に求められる幅広いスキルを修得

臨床教育研修センターは、川崎医科大学附属病院の一角に実際の病室やナースステーション、ICUなどを忠実に再現した模擬病棟設備です。川崎医科大学学生の臨床実習のほか、薬剤師やメディカルスタッフの研修、研修医のオリエンテーションなど、医療に関わる全ての学生、職種に、広く活用されています。コンピュータと連動し、疾患の病態や症候を再現できる患者シミュレーター、心電図、超音波検査機器といった医療機器に加え、手洗いや採血、注射が練習できる機器も多数備えられています。救急医療現場を再現し、救急処置やナースステーションへの連絡、家族への説明といった、実際の医療現場で起こり得る場面を高いレベルでシミュレーションすることも可能です。また、医療現場で重視される患者さんへの適切な接し方から、チーム医療でのスタッフへのレクチャーなど、多職種連携に必須のスキルも学ぶことができます。



最新鋭の設備が揃う環境で、少人数のチーム制学習を実施。体を動かす参加型授業はより深い理解に結びつき、実際の医療現場の雰囲気を感じられる実践的な学びの場となっています。



皮膚科学
林 宏明 講師
HAYASHI Hiroaki



岡村 徹哉 さん
OKAMURA Tetsuya

病棟や病室がリアルに再現されているので、実際に実習で病院に行った際も余計な緊張感がなくスムーズに臨床実習をスタートすることができました。医師役、患者役に分かれて医療現場をシミュレーションした授業も、実習に役立っています。

山角 太良 さん
YAMASUMI Taro

腹腔鏡の練習は、実際のオペ以外にはこのセンターでしか体験できないことなので勉強になりました。糸結びによる処置後の縫合の練習や、ビーズを使った腫瘍の摘出の練習も経験し、いかに繊細な技術が求められるのかを実感することができました。



総合的な能力を備えた 医師の育成を目指して

当センターを活用した学習では、実際に身体を動かしながら学ぶことで、座学では得られない高い記憶の定着が見込めます。また、少人数のチーム制学習を実施し、メンバーが医師や患者、看護師など、様々な役割をこなすことで、よりリアルなコミュニケーションを学ぶことも可能です。地域医療やかかりつけ医など、全人的医療のニーズが高まる中、本学でもクリニカルクラークシップに代表されるような参加型の学習を促進しています。専門性を磨くことはもちろんですが、患者さんとの長期にわたる関わり方や、ネットワークを活用するスキルなど、柔軟な能力を備えた総合臨床医として活躍する医師を育成するために、当センターをはじめとした幅広い学びの場を提供していきたいと思っております。

内田 香織 さん
UCHIDA Kaori

臨床教育研修センターでは、心肺蘇生の方法やAEDの正しい使い方、病院の中で倒れている患者さんを発見した時の正しい処置法などを学んでいます。5名前後の少人数制のグループ学習が中心なので、楽しみながら学べます。

